

日本河川・流域再生ネットワーク <http://www.a-rr.net/jp/>  <https://www.facebook.com/JapanRRN>

「日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）」は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。(Since 2006)

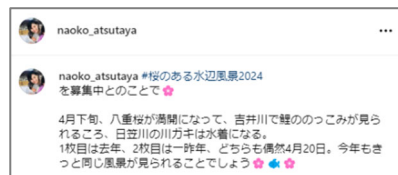
目次	Pages
➤ JRRN 事務局からのお知らせ	1
➤ JRRN 会員寄稿記事	7
➤ 「リバフロサポートセンター」からのお知らせ	8
➤ イベント案内 & 冊子等の紹介	9

JRRN 事務局からのお知らせ (1) JRRN Activity Report

「桜のある水辺風景 2024」結果のお知らせ

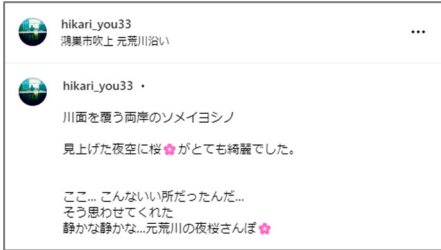
5 月 10 日に締め切りました、「桜のある水辺風景 2024」にご投稿いただいた皆様ありがとうございました。今年度も全国各地より、桜のある水辺風景写真が投稿されました。最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点をご紹介します。

【最優秀賞 naoko_atsutaya さん】



2024 年 6 月 5 日 JRRN Instagram にて発表済

【優秀賞 : hikari_you33 さん】



【優秀賞 : hitoshi.photo さん】



【選考結果資料】

桜のある水辺風景2024 結果概要

【参考 JRRNインスタ概要 (5/22時点)】

- ・フォロワー数 206人
- ・フォロー中数 228人
- ・投稿数 300件
- ・<https://www.instagram.com/jrrn01/>

	エントリー No.	合計得点
最優秀賞	2	7
優秀賞	32	4
優秀賞	35	4

・応募期間 2024年3月1日～5月10日
・応募数 66件 (うちJRRN事務局投稿25件)
・投票結果 関係者9名による投票により選定。
JRRN事務局 7名
リバフロ内賛同者 2名

最優秀賞 2点
優秀賞 1点

の加点制。
最優秀賞 1件、優秀賞2件が決定

・最優秀賞 No.2 naoko_atsumayaさん (7点)
・優秀賞 No.32 hikari_you33さん (4点)
・優秀賞 No.35 hitoshi.photoさん (4点)

全投票結果

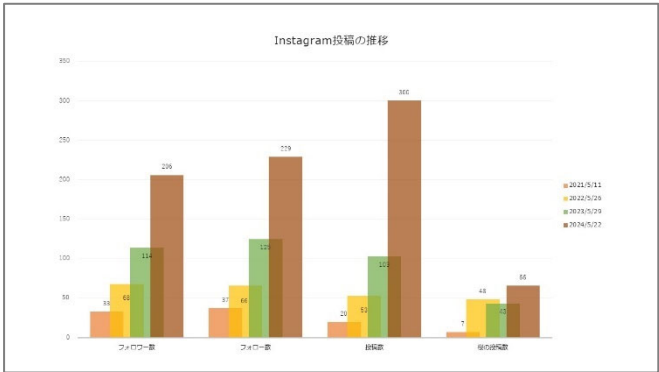
エントリー No.	最優秀賞 (2点)	優秀賞 (1点)	優秀賞 (1点)	合計得点
2	6	1	0	7
7	0	1	0	1
28	0	1	0	1
29	0	0	1	1
30	0	0	1	1
31	0	2	2	4
32	4	0	0	4
33	0	1	0	1
35	2	0	2	4
37	0	0	1	1
39	2	0	0	2
40	0	1	0	1
47	2	0	0	2
55	0	0	1	1
62	2	1	0	3
64	0	1	0	1
65	0	0	1	1

・投稿数UPに伴いリバフロ所内へ投票について案内をしたところ、2名の方から賛同を得ました

・投票のあった作品は全17点 (内2点は事務局投稿)

・優秀賞に関しては同点3作品がありました。が、「最優秀賞」に加点のあった2作品を「優秀賞」としました

・投稿数が増え、投票にも多少のバラツキがみられました



今年度の投稿数は 66 件でした。Instagram での募集開始以来過去最高数となりました。

フォロワー数も昨年度の約 2 倍となり、河川や水辺にご興味のある方だけでなく、日常的に Instagram を楽しんでいる方からの投稿が数多く見受けられ、改めて SNS の情報発信力を実感することができました。投稿いただきました皆様に改めてお礼申し上げます。

投稿数の増加に伴い、今回の審査・選考には、事務局他関係各所の方へ審査を依頼しました。その結果、審査の視点も多様化が見られたことも大きな発見となりました。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。

これからも JRRN では、河川や水辺の情報について発信・共有することを目的に活動していきます。どうぞお気軽にフォローや「いいね！」をお願いします。

インスタグラム

<https://www.instagram.com/jrrn01/>

#河川 #河川敷 #水辺 #自然環境 #river

(JRRN 事務局・後藤千佳子)

JRRN 事務局からのお知らせ (2) JRRN Activity Report

小さな自然再生普及促進プロジェクト『第 24 回「小さな自然再生」現地研修会 in 新潟県新発田市・古太田川 (2024 年 6 月 30 日)』開催案内 <6/26 (水) 申込〆切>

第 24 回「小さな自然再生」現地研修会を、2024 年 6 月 30 日 (日) に新潟県新発田市の阿賀野川流域古太田川にて開催致します。本研修会では、手づくりのカワドや護岸など今も残る素敵な地域の宝を楽しみながら保全・継承していくために何ができるのかについて、魚や水生植物など生き物の視点から参加者で学び合い、古太田川の多様な魅力を再発見します。

(令和 6 年度河川基金助成事業)

【日時】令和 6 年 6 月 30 日 (日) 10:00～16:00

【主催】下興野自治会、早稲田大学景観デザイン研究室、「小さな自然再生」研究会、日本河川・流域再生ネットワーク

【協力】新発田市、豊浦郷土地改良区、NPO 加治川ネット 21、公益財団法人リバーフロント研究所

【会場】新潟県新発田市下興野 <座学：長願寺本堂（登録有形文化財）／現地：古太田川>

【対象】小さな自然再生に関心のある方々

【定員】50 名程度 (申込先着順)

【参加費】無料

【持ち物】胴長靴、作業用手袋、雨合羽、昼食、熱中症対策グッズ (帽子・タオル・飲み物等)

【その他】

- ・お車でお越しの場合、長願寺の駐車台数には限りがあるため、駐車は「古太田川親水公園」をお願いします。
- ・少雨決行。悪天候の場合は室内プログラムに変更し開催します。
- ・公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。
- ・主催者側で行事保険に加入いたします。

【プログラム】

(10:00～11:00) 古太田川を巡る @古太田川

- 古太田川沿いを歩きながらカワドや護岸を観察し、生き物の視点から自然環境を学びます。

(11:00～12:30) 座学研修 @長願寺本堂

- 開会挨拶
- 古太田川のスエキを地域の力で守るために
(佐々木葉：早稲田大学景観・デザイン研究室)
- 川の環境と魚類の関係
(白尾豪宏：公益財団法人リバーフロント研究所)
- 川の環境と水生植物の関係
(鈴木敏弘：公益財団法人リバーフロント研究所)

(12:30～13:30) 昼食

(13:30～15:30) 小さな自然再生の実践 @古太田川

- 古太田川に生息・生育する魚や水生植物を観察しながら、保全・再生のためにできる工夫を学びます。

(16:00) 閉会

【参加申込方法】

必要事項 (氏名・所属・連絡先 [住所・電話・E-mail]) を明記の上、E-mail でお申込み下さい。

E-mail: info@a-rr.net

※申込〆切：令和 6 年 6 月 26 日 (水) 17:00 まで

※本研修会の詳細は次ページ以降の案内チラシを参照。

なお、本年 4 月に「小さな自然再生」現地研修会の開催希望地を公募した結果、全国より 7 件のご応募を頂き、一部は既に開催するとともに、以下の手順で開催に向けた企画調整を進めております。

①本年4月に「今年度開催希望地」を公募

②全国から7件応募を頂く (福井、新潟、兵庫、滋賀、千葉、静岡、長野)

③4月～5月に全7件応募者とオンライン面談実施

④開催に向けた事前調査及び企画調整を実施中



今年度「小さな自然再生」現地研修会応募河川の位置図

企画調整を経て開催が決まった研修会につきましては、JRRN のウェブサイトや SNS 及び本ニュースレター等で随時皆様にご案内をさせていただきます。

たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

(JRRN 事務局・和田彰)

「小さな自然再生」現地研修会 in 古太田川

生き物の目線で古太田川の魅力を探ってみよう

手づくりのカワドや護岸が今も残る古太田川。
このステキに満ちた貴重な水辺を未来に継承
していくには？ この研修会では、魚や水生
植物など生き物の視点から、古太田川の
環境と維持管理活動の工夫について、
専門家と一緒に学びます。



2024年6月30日(日)

10:00～16:00 ※途中参加・途中抜けOK

場所：新潟県新発田市下興野

座学：長願寺本堂（登録有形文化財）／現地：古太田川

主催：下興野自治会、早稲田大学景観デザイン研究室、「小さな自然再生」研究会、日本河川・流域再生ネットワーク
協力：新発田市、豊浦郷土地改良区、NPO 加治川ネット 21、公益財団法人リバーフロント研究所

プログラム

10:00～11:00 古太田川を巡る @古太田川

古太田川沿いを歩きながらカワドや護岸を観察し、生き物の視点から水辺の自然環境を学びます。

11:00～12:30 座学研修 @長願寺本堂

古太田川のステキを地域の力で守るために（佐々木葉：早稲田大学景観・デザイン研究室）

川的环境と魚類の関係（白尾豪宏：公益財団法人リバーフロント研究所）

川的环境と水生植物の関係（鈴木敏弘：公益財団法人リバーフロント研究所）

意見交換

12:30～13:30 昼食

13:30～15:30 小さな自然再生の実践 @古太田川

古太田川に生息・生育する魚や水生植物を観察しながら、保全・再生のためにできる工夫を学びます。

16:00 閉会

※プログラム及び講演タイトルは一部変更の可能性もあります。

※主催者側で行事保険に加入いたします。

参加費 無料

持ち物

胴長靴、作業用手袋、昼食、

熱中症対策グッズ

（帽子・タオル・飲み物等）

研修会場

長願寺（登録有形文化財）

〒957-0083 新潟県新発田市下興野 108

※長願寺の駐車台数には限りがあるため、

駐車は「古太田川親水公園」にお願いします。



長願寺（研修会場）



申し込み方法

必要事項（氏名・所属・連絡先〔住所・電話・E-mail〕）を明記の上、E-mailでお申し込み下さい。

申込〆切日：2024/6/24（月）17:00

E-mail: info@a-rr.net

※記入された個人情報は、厳重に管理した上で、JRRNが主催する行事等のご案内に利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。



河川
基金

公益財団法人 河川財団の河川基金の助成を受けています。

＜お問合せ＞日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）事務局（担当：和田彰・白尾豪宏）

〒104-0033 東京都中央区新川1-17-24 NMF 茅場町ビル7階（公財）リバーフロント研究所内

Tel: 03-6228-3861 Fax: 03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net

Website: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>



JRRN 事務局からのお知らせ (3) JRRN Activity Report

小さな自然再生普及促進プロジェクト – 『第 23 回「小さな自然再生」現地研修会 in 滋賀県& 福井県・北川上流域河内川』開催報告

2024 年 5 月 25 日（土）、第 23 回「小さな自然再生」現地研修会が滋賀県と福井県の県境に位置する熊川宿・北川上流域の河内川（こうちがわ）にて行われ、地域内外から 49 名が参加しました。熊川宿は若狭と京都を結ぶ鯖街道の旧宿場町で、現在も伝統的な景観が残っています。河内川は北川の支川で、熊川宿の通りを横切るように流れ北川に合流します。

午前は座学で、プロジェクトの背景と目標を共有するとともに、地元の方から地域の歴史と川との関わりなどを学びました。さらに、福井県立大学や滋賀県立大学の専門家から、サクラマスの生態・生息環境に関する知識や、小さな自然再生の事例や効果を学びました。

午後は河内川に入り、落差 1.5m の落差工に手作りで身近な資材を使った魚道製作に挑みました。設置場所にアクセスする手段がなかったため、北川本川から回り込んで川に入り、滑車で資材を道路上から運搬しながら魚道を作りました。また、現地の石を並び替えて簡易にバープ工を試作し、その設置方法を学びました。

参加者からは「川や魚の魅力や小さな自然再生の面白さを実感できた」「皆で共同活動することの大切さを改めて感じた」などの声が寄せられ、地域の人たちにも大好評でした。今回は福井・滋賀の両県の地域が協力し、参加者も地域内外の高

校生や学生など幅広い層が参加し協力して実施したことが印象的であり、未来のサクラマス復活に向け今後の活動に対する期待が高まる会となりました。



地域のまちづくり代表による座学



リレーで資材を運搬



完成した魚道と記念写真（橋上からも多くの見物）

第 23 回「小さな自然再生」現地研修会 プログラム

10:00～12:00 北川サクラマス越境プロジェクト 座学研修 @熊川児童館

- 開会挨拶
- 北川サクラマス越境プロジェクトについて（是永 宙：結いの里 棕川）
- 熊川地区及び棕川地区での北川とのかつての関わりを振り返る（宮本 哲男：熊川地区／井上四郎太夫：棕川地区）
- サクラマスの生態について（田原 大輔：福井県立大学 海洋生物資源学部）
- 小さな自然再生でできる河川環境の改善（瀧 健太郎：滋賀県立大学 環境科学部）
- 午後の河内川での実践活動の概要紹介及び安全管理について

12:00～13:00 昼食

13:00～16:00 小さな自然再生の実践～手づくり魚道を試作する @河内川

- 落差 1.5m の落差工に手づくりで魚道を製作
- 現地技術指導：田原大輔、瀧健太郎

16:30 閉会

(JRRN 事務局・阿部充)

6 月



あの日のあの川 リレー日記 ～第 74 話～



あの日のあの川
リレーDiary

みなさんはどの川でどんなことをした記憶がありますか？ 幼少期や青春時代に体験した川での記憶を日記として掘り起こして語るコーナーです。リレー形式で毎回次の人にバトンをつなぎます。

第 74 話主人公 曽根颯大

(筑波大学大学院 システム情報学研究科 構造エネルギー工学専攻 白川（直）研究室『川と人』ゼミ)

(□川ガール・■川系男子)

(出身地を流れる川：埼玉県 元荒川、綾瀬川)

「荒川ライン下り」

いつのこと？：小学生

どの川？：荒川(埼玉県秩父市長瀬町)

白川研究室所属の曽根颯大です。幼稚園小学生時代の私は近所の川辺などでよく虫捕りや魚釣りなどよく川遊びをしていていましたが、今回は埼玉県秩父市長瀬町の荒川ライン下りに行ったときの思い出を語ろうと思います。

実家の越谷から片道 2 時間近くをかけ、家族祖父母とともに埼玉県秩父市への日帰り旅行で荒川ライン下りを体験してきました。“荒川ライン下り”は和舟に乗って荒川の 3km ほどを船頭の人が櫓をこぎガイドを聞きながら下っていきます。国の特別天然記念物に指定された「岩畳」や急流スポットである「小滝の瀬」などの美しい自然が楽しめます。また春には桜、秋には紅葉、夏には新緑の景色と四季折々の自然を体験できます。細かい感想は覚えていませんが、小学生時代の私は、「楽しかった、また行きたい」と思っていた記憶があります。その日は行きませんでした。ライン下りの他にも荒川の川辺でキャンプやバーベキュー、カヌーやラフティング、フィッシングエリアなど、近くに自然を満喫できる観光場所があるそうです。

あれから十年ほどが経ち、小学生時代は虫捕りなどをして川で遊んでいた私ですが、今では研究として川や自然、災害と向き合い、異なる関わり方をしています。大学の授業などを通してこの分野に興味を持ち、小学生時代の思い出とは関係なく今の研究室を選んだので川には不思議な縁を感じます。

荒川ライン下りに小学生の頃は遊園地のアトラクションのような楽しさを感じていましたが、日常から離れて自然に癒されるために体験したいと感じるようになりました。今日は 6 月、これから段々と夏の暑さが厳しくなっていきます。暑い日に川の涼しい風を浴び、夏の緑の美しさや滝や急流、岩畳などの川の自然を体験し癒されに行くのもいいかもしれません。

(次は宮下さんにバトンを託します)

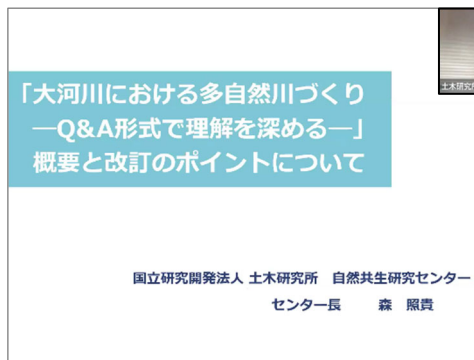
「リバフロサポートセンター」からのお知らせ RiverFront Support Center

※「リバフロサポートセンター」は、公益財団法人リバーフロント研究所が強みとするテーマの情報、技術、研究成果、また川づくりの楽しさややりがい等を社会に発信し、水辺とまちのパートナーとして各地域の担い手を支援します。JRRN はリバフロサポートセンターと二人三脚で川づくり・まちづくり・流域づくりの推進に取り組んでおります。

「大河川における多自然川づくり～Q&A 形式で理解を深める～」 第 13 回目のウェブセミナーを開催しました！ 次回は 7 月頃、開催予定です！

「多自然川づくりサポート」事務局（担当：渡邊祐介）

■第 13 回 大河川における多自然川づくりウェブセミナー



「第 13 回 大河川における多自然川づくりウェブセミナー」を令和 6 年 5 月 28 日（火）に開催しました。

第 13 回目は、「河川環境行政の動向」と「令和 5 年度大河川 QA 改訂のポイント」に関して、『大河川における多自然川づくり—Q&A 形式で理解を深める—』概要と改訂のポイントについてと題して土木研究所 自然共生研究センターの森照貴センター長から、「河川環境行政の動向」と題して国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課の阿河一穂課長補佐からご紹介いただきました。

参加申込者は、行政関係者が約 3 割、コンサルタント関係者が約 6 割で全体の約 9 割を占めており、合計で 396 名の方々に参加申込いただきました。参加者の皆様ありがとうございました。

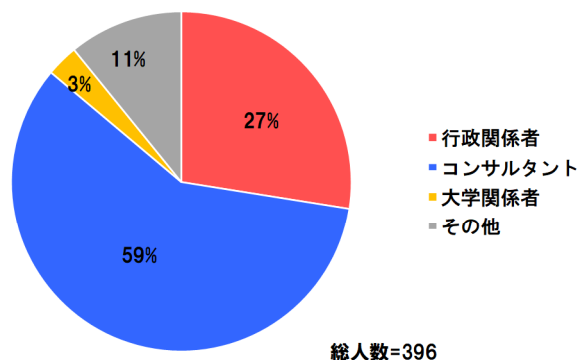


図 参加申込者の職種分類

＜第 13 回 ウェブセミナー開催概要＞

- 開催日時：令和 6 年 5 月 28 日 16:00～17:10
- 開催形式：ZOOM ウェビナー
(事前申込制、参加費無料)
- タイトル：「河川環境行政の動向」と「令和 5 年度大河川 QA 改訂のポイント」
- プログラム：
 - ①「大河川における多自然川づくり—Q&A 形式で理解を深める—」概要と改訂のポイントについて
講演者：国立研究開発法人 土木研究所 自然共生研究センター センター長 森 照貴
 - ② 河川環境行政の動向
講演者：国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 課長補佐 阿河 一穂
 - ③ 意見交換
- CPD：1.2 単位（土木学会認定）

■次回開催予定、過去の講演動画の紹介

次回は 7 月頃開催予定で調整中です。

また、過去の講演動画はリバーフロント研究所 HP にて公開中です。

今回の開催案内、過去の講演動画等の詳細は以下の URL をご覧ください。

<http://www.rfc.or.jp/daikasen.html>

■大河川における多自然川づくり—Q&A 形式で理解を深める

本書では、大河川における多自然川づくりを実践するため、現場で直面する課題を Question とし、これに Answer とし、答える形式で、これまで日本が蓄積してきた知見が分かり易く紹介されています。

※本 Q&A のダウンロードはこちらから

https://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/kankyo/tashizen/qa.html

イベント案内 Event Information

【聞いて・見て・触れて・学べる「雨展」を開催中】

■ あらぶる雨・めぐみの雨 雨展（6/27まで開催）

雨と聞くとどのようなことを思い浮かべますか。生活に身近な雨について様々な企画展示で学ぶことができる「雨展」を、三重県鈴鹿市の鈴鹿市河川防災センターで現在開催中です。

【雨展とは】

「あらぶる雨」と「めぐみの雨」に注目し、雨の特性、雨の科学、雨と暮らし、雨と防災など、様々なトピックを取り上げた全国を巡回する展示企画です。これら「雨」に関する様々な展示企画を通して、災害に関する知識や河川環境保全の大切さを学習してもらうことを開催目的としています。

- 日時：2024年6月7日（金）～6月27日（木）
- 場所：：鈴鹿市河川防災センター（三重県鈴鹿市庄野町9 8 1 - 1）
- 参加費：無料
- ◆ 詳細は以下参照



https://www.cbr.mlit.go.jp/kisya_manage/app/press/file/20240606_46360ec28a81f1c53d78768e0df5a331/20240606_66611b4f4a32d_upfile.pdf

冊子等の紹介 Publications

■ 水辺の小さな自然再生 人と自然の環を取り戻す



地域住民が発案・協働し、手づくりの技で、身近な生物の生きる環境を回復する「小さな自然再生」が全国で進んでいる。北海道で地域住民の発意により行なわれている小さな自然再生、とくに「手づくり魚道」の取り組みを紹介しながら、地域の人々にとって身近な自然やそれと結びついた風景はどんな存在なのか、地域の力でそれを取り戻すことの意味は何かを問う。

<目次>

- 序章 変貌した故郷の風景——失われた空間の履歴
- 第1章 小さな自然再生との出会い——三郎川手づくり魚道ものがたり
- 第2章 広がる小さな自然再生
- 第3章 なぜいま小さな自然再生なのか
- 終章 小さな自然再生がひらく未来
- 終わりにかけて——海に生きる人に、風を

- 著者 中川大介 著
- 定価 2,200 円（税込）
- ISBNコード 9784540222023
- 発行日 2023年12月
- 出版 農山漁村文化協会(農文協)
- 判型/頁数 四六 280ページ
- 詳細はこちらから：

<https://toretate.nbkbooks.com/9784540222023/>

【お気軽にお問い合わせください】

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局



〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 NMF 茅場町ビル7階（公財）リバーフロント研究所 内
 Tel:03-6228-3861 Fax:03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net
 URL: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>